

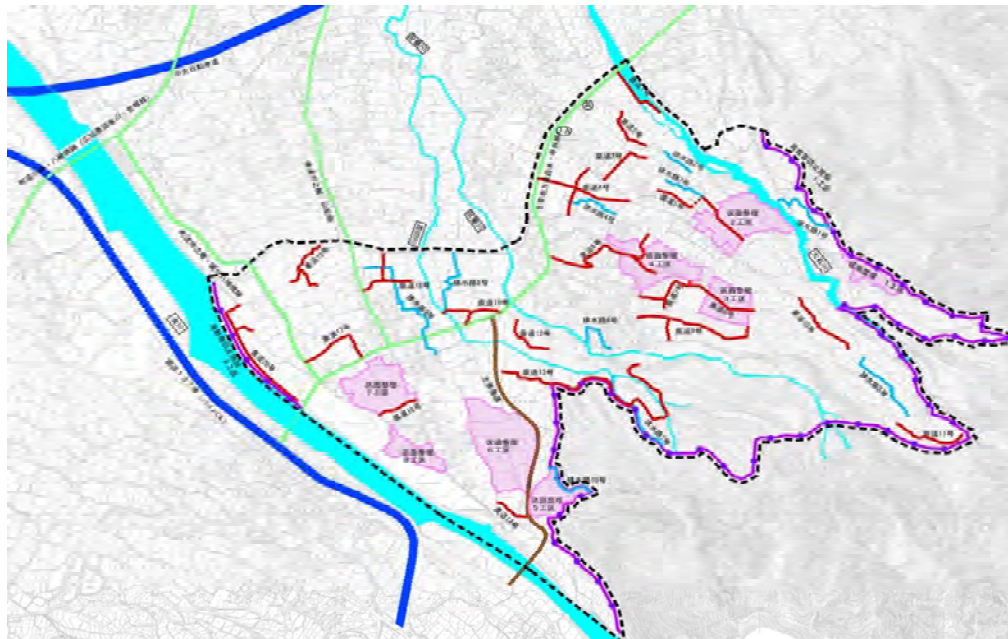
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化基盤整備事業 農地整備事業		地区名	いちのみやなんぶ 一宮南部
関係市町村	山梨県 ふえふきし 笛吹市		事業主体	山梨県
事業目的	本地区は、県南東部山岳地帯の丘状扇状地に広がる果樹地帯にあり、もも・ぶどうなどを基幹作物とした営農が展開されている。地区内の農道や排水路は、整備が不十分であるため、作業効率の低下、果樹品質の劣化を招いている。また、農地は、小区画で、不整形で、大型機械導入が遅れ、農業従事者が減少するとともに高齢化していることから、休耕地・遊休農地も増加傾向にある。このため、本事業により生産基盤の整備を一体的に行うことで、農作業の効率化や農産物の生産性の向上を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	118ha	194戸	2,598百万円	平成27～35年度
	主要工事	用排水路 3 km 農道 6 km 区画整理 20ha		
	関連事業	国営かんがい排水事業 笛吹川地区		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	3,519百万円	2,468百万円	1.42	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：一宮南部地区土地改良事業計画概要書（山梨県耕地課作成）

概要図

農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業） 一宮南部地区



県内位置図



凡例

区分	凡	例
	国道	
	県道・主要地方道	
	主要農道	
	事業計画区域界	
整備計画	用排水路	
	農道	
	区画整理	
	農地保全(鳥獣害防止施設)	

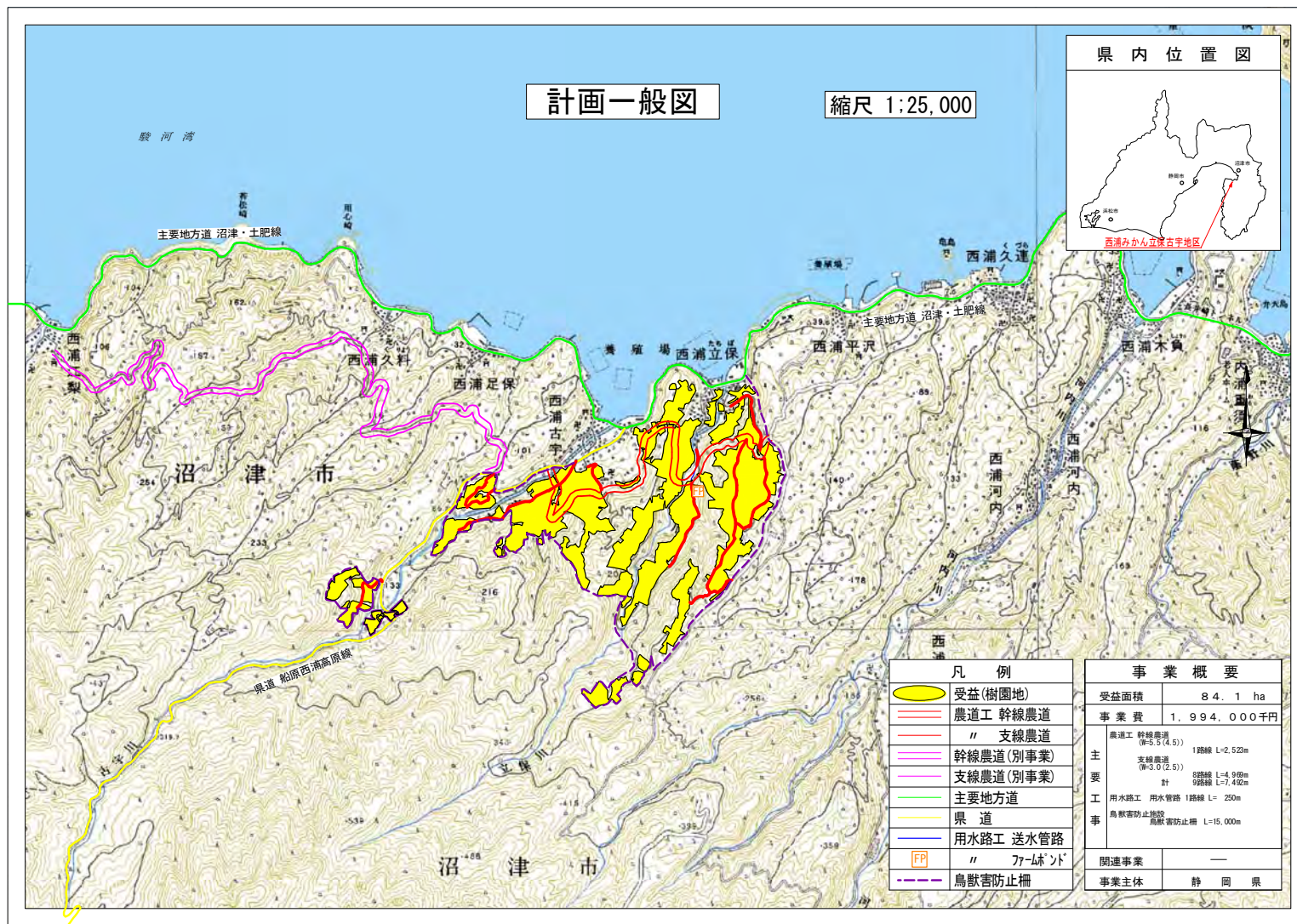
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化基盤整備事業 農地整備事業		地区名	にしうら 西浦みかん たちぼこう 立保古宇
関係市町村	静岡県 ^{ぬまつし} 沼津市		事業主体	静岡県
事業目的	本地区は、沼津市南部に位置するみかん単作地域である。近年「寿太郎」に代表される「西浦みかん」が市場で高い評価を受けており、農家の営農意欲も向上している。地区内の農地は、急峻な山間地で狭い幅員の道路が複雑に入り組んでおり、農作業の効率が非常に悪い状況である。また、農業用水未整備であることから防除に際し多大な労力を要している。 このため、本事業により農道及び農業用用水路の整備を行うことで、通作条件の改善により労働生産性及び品質を向上させるとともに、営農経費の節減、作物の単収向上により農業経営を安定させ、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	84ha	89戸	1,994百万円	平成27～36年度
	主要工事	用水路 0.3km 農道 7 km 鳥獣害防止柵 15km		
	関連事業	該当なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	2,068百万円	1,867百万円	1.10	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：西浦みかん立保古宇地区土地改良事業計画概要書（静岡県農地計画課作成）

概 要 図

農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業） 西浦みかん立保古宇地区



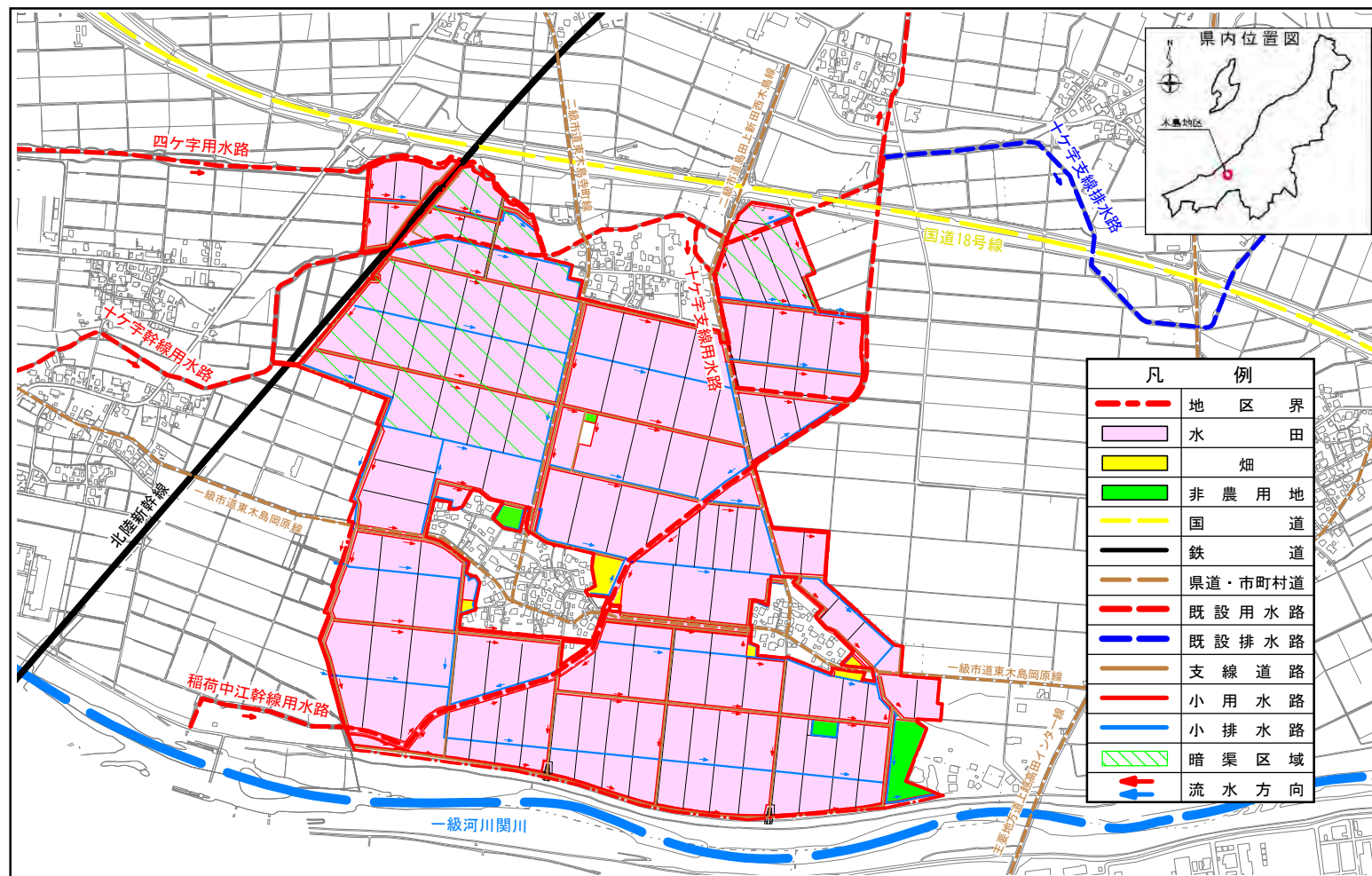
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化基盤整備事業 農地整備事業		地区名	きしま 木島
関係市町村	じょうえつし みょうこうし 上越市、妙高市		事業主体	新潟県
事業目的	本地区は、新潟県南西部に位置し、水稻を中心に水田の畑作利用による大豆等を組み合わせた営農が展開されている。 本地区の農地は、6aと小区画、農道は幅員2m～3m、用排水路は土水路であることから、効率的な大規模農業が展開できない状況にある。 このため、本事業により区画整理による農地の大区画化、農道や用排水路の整備を行うことにより、担い手への農地の面的集積を促進し、大型機械の導入により農作業効率を高め、安定的な農業経営を確立し、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	96ha	124戸	1,864百万円	平成27～32年度
	主要工事	区画整理 96 ha		
	関連事業			
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	2,880百万円	2,037百万円	1.41	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：木島地区土地改良事業計画概要書（新潟県農地計画課作成）

概 要 図

農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業） 木島地区



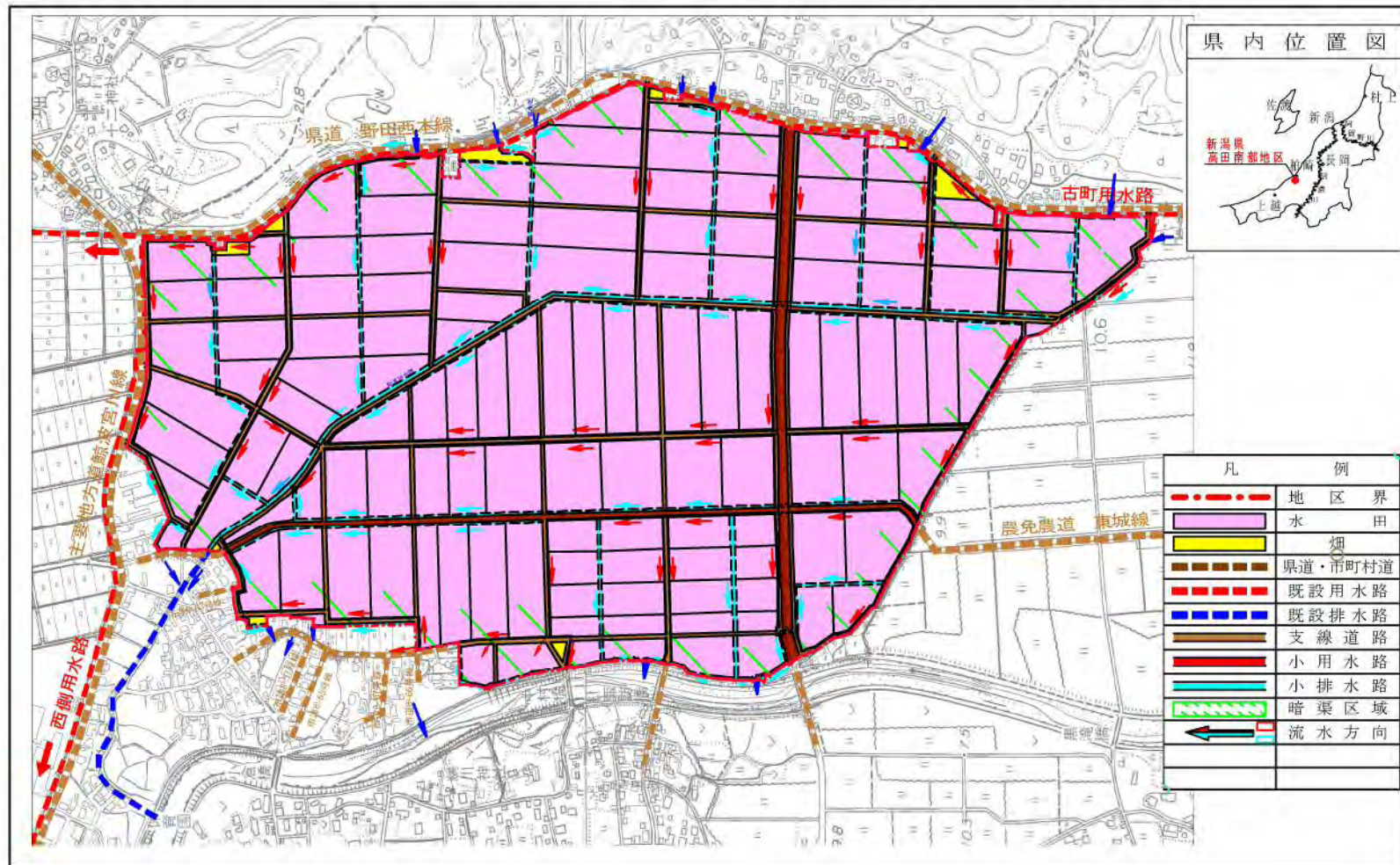
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化基盤整備事業 農地整備事業		地区名	たかだなんぶ 高田南部
関係市町村	かしわざし 柏崎市		事業主体	新潟県
事業目的	本地区は、農業生産法人と大規模個別農家を中心に、稲作を主体とした経営の合理化に取り組んでいる地域である。 地区内の農地は、10aと小区画であることから効率的な大規模農業が展開できない状況である。 このため、本事業により生産基盤を整備し、担い手への農地の面的集積を促進し、大型機械の導入により、水稻に係る農作業効率を高め、収益性の高い農作物の導入による複合経営を進め、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	86ha	184戸	1,398百万円	平成27～32年度
	主要工事	区画整理 86ha		
	関連事業	国営かんがい排水事業 柏崎周辺地区 県営かんがい排水事業 柏崎 1 期地区		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	3,612百万円	3,090百万円	1.16	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：高田南部地区土地改良事業計画概要書（新潟県農地計画課作成）

概要図

農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業） 高田南部地区



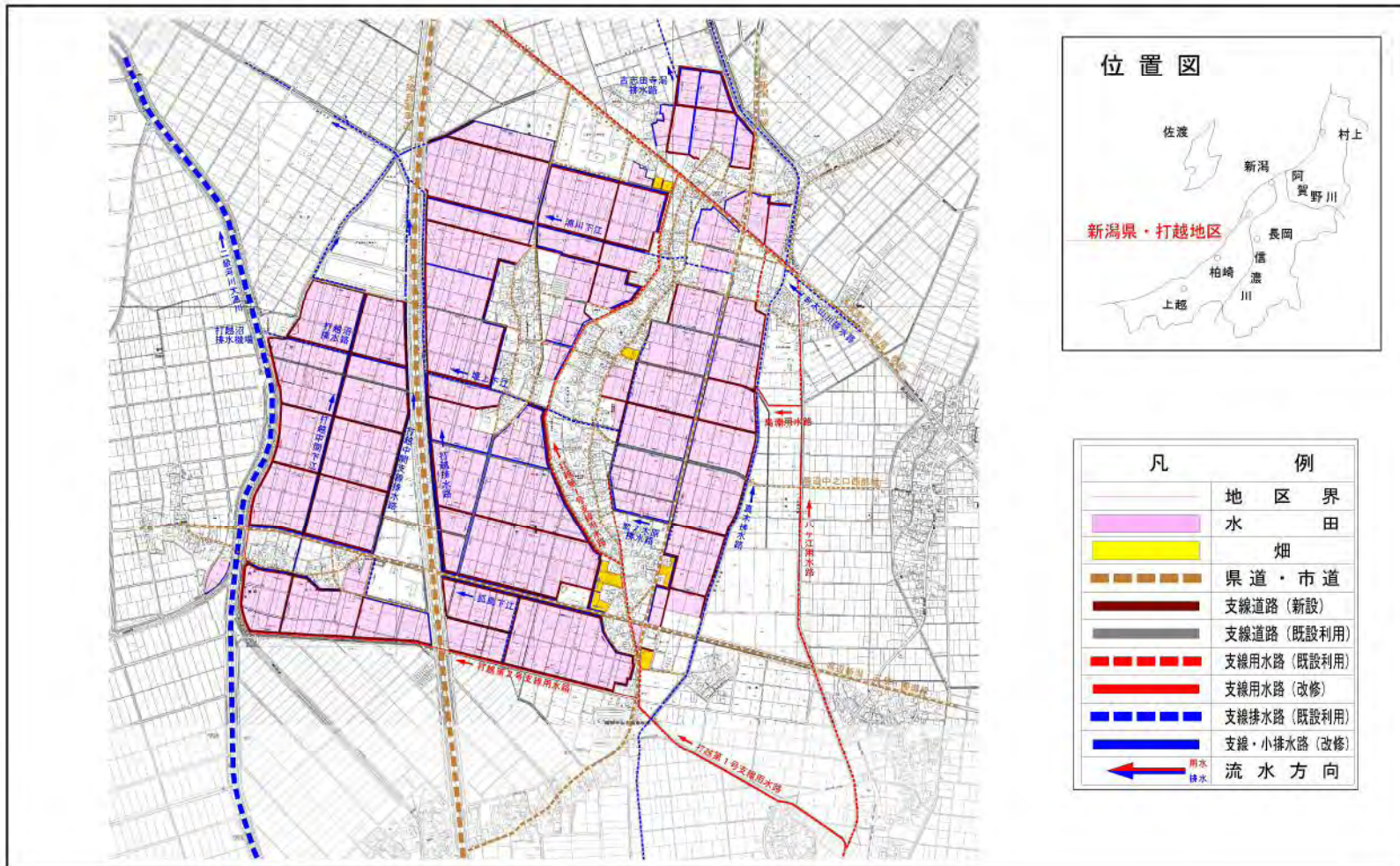
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化基盤整備事業 農地整備事業		地区名	うちこし 打越
関係市町村	にいがたし つばめし 新潟市、燕市		事業主体	新潟県
事業目的	本地区は、新潟市南西部に広がる優良な水田地帯で、水稻を中心とした営農が展開されている。 地区内の農地は、昭和30年代の団体営区画整理事業により20a区画に整備されているが、20aと小区画であることから、大型機械による農作業効率が悪く、また、農業用施設の老朽化により、用排水路の水管理及び維持管理に苦慮している状況にある。 このため、本事業により生産基盤を整備し、農業生産法人や農業経営に意欲的な担い手へさらなる農地集積を進め、大型機械の導入による農作業効率の向上を図り、生産コストの低減に努めるとともに、高品質良食味米の作付け、大豆の団地化とブロックローテーションにより、収益性の高い営農による複合経営を進め、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	192ha	147戸	3,754百万円	平成27～35年度
	主要工事	用水路 2 km 区画整理 192ha		
	関連事業			
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	14,264百万円	5,524百万円	2.58	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：打越地区土地改良事業計画概要書（新潟県農地計画課作成）

概要図

農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業） 打越地区

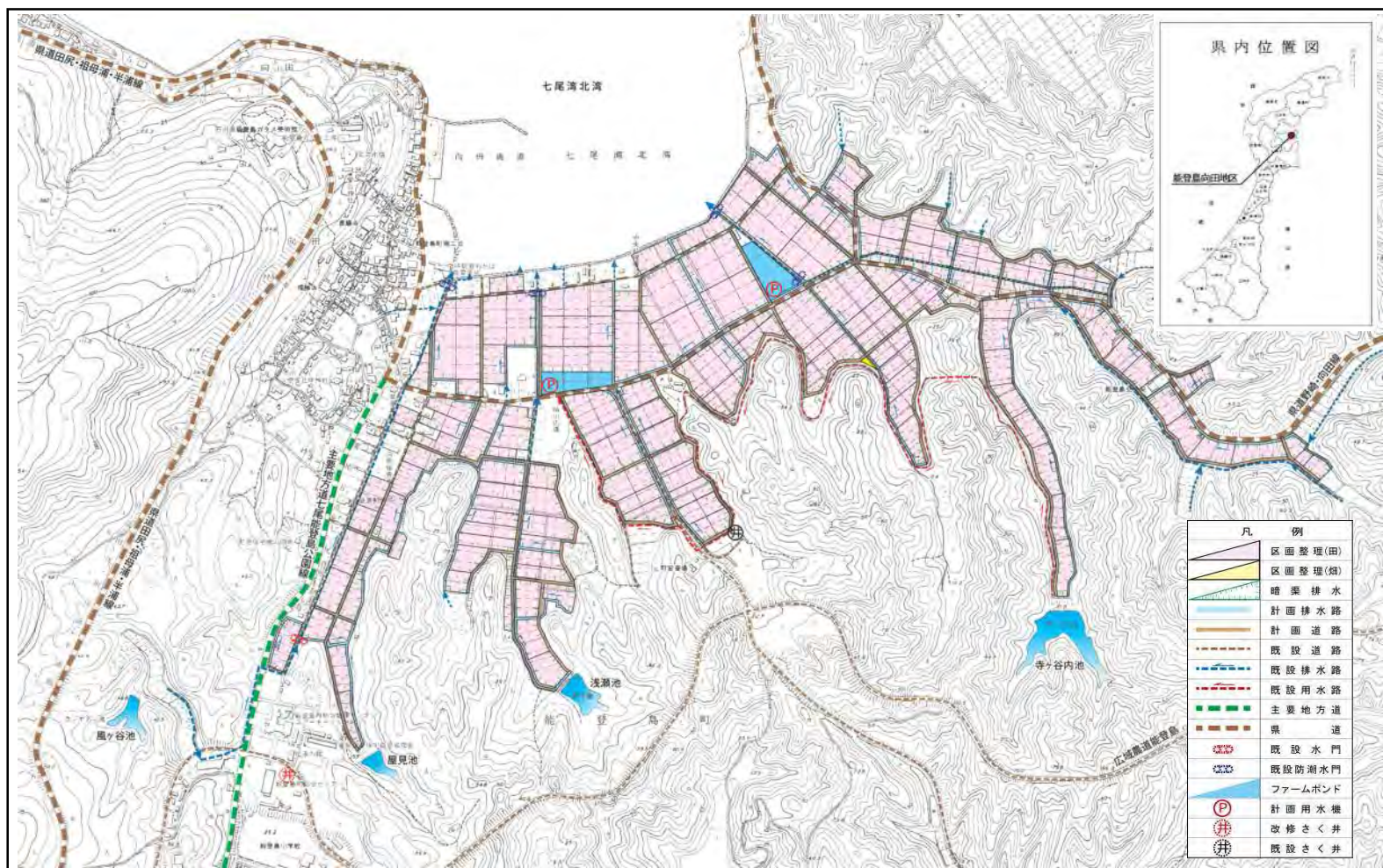


地区別事業概要

事業名	農業競争力強化基盤整備事業 農地整備事業		地区名	の と じ ま こ う だ 能登島向田
関係市町村	な な お し 七尾市		事業主体	石川県
事業目的	本地区は七尾市能登島の中央部に広がる優良な水田地帯で、水稻を中心とした営農が展開されている。 地区内の農地は、昭和30年代の団体営土地改良総合整備事業により整備されているが、10aと小区画で農道は狭く、用排水路の老朽化に伴って維持管理に苦慮している。また湿田であることから、効率的な営農の妨げとなっている。 このため、本事業により農地の区画拡大、用排水路の分離と暗渠排水による水田の汎用化を行い、担い手への農地の面的集積を促進し、大型機械の導入により農作業効率を高め、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	59ha	166戸	1,195百万円	平成27～32年度
	主要工事	区画整理 59ha		
	関連事業			
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,767百万円	1,537百万円	1.14	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：能登島向田地区土地改良事業計画概要書（石川県農業基盤課作成）

農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業） 能登島向田地区



地区別事業概要

事業名	農業競争力強化基盤整備事業 農地整備事業		地区名	にかい 二回
関係市町村	愛知県 とよはし 豊橋市		事業主体	愛知県
事業目的	本地区は、水稻を中心にキャベツ、スイートコーン、トマト等の露地野菜を組み合わせた営農が展開されている。 地区内の用水路は、水資源機構営事業地区の受益地の最末端に位置し、団体営事業により整備された開水路による配水が行われているため、水管理に苦慮している。また、地区内の畑は、かんがい施設が未整備であるとともに、農道においては、舗装の劣化が著しく、併設排水路が整備されていない状況にある。このほか、一部の排水路が老朽化し、排水に支障を来しており、地区内の効率的な営農が展開できない状況である。 このため、本事業により用水路のパイプライン化や畑かん施設の整備を行い、水管理の効率化や用水の安定供給を図るとともに、排水路や農道の整備を行い、農業経営の安定を図るとともに、担い手への農地集積を促進し、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	90ha	191戸	1,830百万円	平成27～33年
	主要工事	用水路工：19km 排水路工：6km 農道工：1km 客土工：3ha		
	関連事業	水資源機構営豊川用水二期事業		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	7,256百万円	4,403百万円	1.64	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：二回地区土地改良事業計画概要書（愛知県農地計画課作成）

概畧圖

農業競爭力強化基盤整備事業(農地整備事業)

